

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 鎌ケ谷市こども発達センター

公表日 令和8年1月7日

利用児童数 4 人

回収数 4 枚

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1	1		2		
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	3			1		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	4					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	4					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	4					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	4					
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	4					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	3			1		
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	4					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	4					

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	4					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	4					
非常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。		2		2		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3			1		
満 足 度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4					
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	4					
	28	事業所の支援に満足していますか。	3	1				

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日		令和8年1月7日		
鎌ヶ谷市こども発達センター		利用児童数		3施設 4人 回収数 3枚		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3			・定期的に保育を見てもらい、その時に必要な支援の方法を知ることができた。子どもへの支援の仕方を見本として見せてもらえることで、具体的に理解することができた。	今後も丁寧な助言や説明を心がけていきます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3			・専門的な観点からの知識や関わり方を教えてもらえ、その子に合った支援の方法を検討することができた。	研修への参加など、引き続き資質向上に努めます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2	1		・職員向けにカンファレンスを設けて頂いたことで、子どもへの理解が深まった。疑問にも答えて頂いたことで、保育の中での迷いも解消できた。 ・最初の1ヶ月月間までは、質問をしてよいのかすら分からなかった。	これから質問しやすい方法や説明の仕方を工夫していきます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3			・本児への課題やアプローチの仕方や支援員から見た新たな課題も知ることができた。	お子さんや保護者、訪問先の先生方に寄り添い、ニーズを把握しながら、課題や困りごとに対して支援を続けます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	2	1		・訪問支援前の姿を比べると、子どもの成長が多く見られた。保育を進めていく中での大きな助けとなった。 ・事業所が子どもの生活リズムに合わせた支援時間を設定することが難しいように思えた。	支援時間につきましては、訪問先のクラスやお子さんへの負担を考慮しながら適切に支援ができるよう、検討していきます。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
<p>・ 支援員の先生の知識・助言がとても勉強になっていると、担任も申しております。関わっている姿も（言葉のかけ方等）参考になり有難いです。ありがとうございます。</p> <p>・ 具体的な支援内容をどのような流れで保育園に伝えて頂けるかが、支援開始時には不明であったため戸惑った。</p> <p>・ 個別支援計画が保育園に共有されないまま、初回の支援を受ける結果になった。</p>				<p>・ 貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。初めて支援を受け入れてくださったときの説明や書類のお渡しなど、行き届かない点があり、大変申し訳なく思っております。分かりやすい説明と丁寧な対応を心がけていきます。</p> <p>・ お子さんと保護者、訪問先の先生方にとってより良い支援は何かということをご提案しながら、発達支援の専門機関として信頼していただけるよう努めてまいります。</p>		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		鎌ヶ谷市こども発達センター					公表日 令和8年1月7日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点		
環境・体制・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	5					
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5					
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5					
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5					
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5					
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	・不明でしたので、いいえにしました。	・第三者評価につきましては、今後の検討課題にしています。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5					
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5					
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5					
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5					
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5					
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・標準化されたツールについては、保育所等訪問支援では使用していない。 ・アセスメント書式については、検討していく必要があると感じている。	・標準化されたツールやアセスメント書式については、活用や見直しを検討していきます。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5					
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5					
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5					
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5					
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5					
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	5					

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	1		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	・家族支援は実施しているが、そこまで必要なケースがないため、研修等の情報提供は行っていない。	・家族支援を引き続き実施しながら、必要に応じて研修などの情報提供もしていきます。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	4	・保育所等訪問支援では行っていない。	・きょうだい児支援については個別に相談に応じるようにしていきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	4		
訪問先施設への	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5			

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・児童発達支援と共通で策定。	・契約時に各種マニュアルが児童発達支援と共通で策定していることを説明させていただいております。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	鎌ヶ谷市こども発達センター			
○保護者評価実施期間	令和7年9月29日		～	令和7年10月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数)	4人
○従業者評価実施期間	令和7年9月26日		～	令和7年10月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年9月29日		～	令和7年10月27日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3施設	(回答数)	3施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年11月21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種の訪問支援員（保育士・臨床心理士・言語聴覚士・理学療法士・作業療法士）が在籍して、支援を行うことができる。	お子さんの状況に応じて訪問支援員を調整・決定し、お子さんの発達段階や特性による関わり方や、訪問支援先施設の環境等について、助言を行うようにする。	今後も情報共有を行いながら、より良い支援につなげていく。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	昨年度よりは訪問支援の利用件数が増えたものの、利用希望者が少ない。	保育所等訪問支援というものの認知度が低い。また、訪問支援員が他業務と兼務しているため、日程調整が難しい可能性がある。	市内の事業所や相談支援専門員、幼稚園・保育園に対し、保育所等訪問支援について周知していく。
2			
3			